

第1回 富里市基本構想審議会 議事録

日時：令和2年7月27日（月）

時間：午後1時30分

場所：富里市すこやかセンター2階会議室1

出席者

関谷 昇	千葉大学 教授（会長）
篠原 眞司	富里市都市計画審議会 会長（副会長）
寒郡 茂樹	富里市商工会 会長
根本 実	富里市農業協同組合 組合長
町田 弘	富里市区長会 会長
秋葉 政則	富里市消防委員会 副委員長
河合 俊彦	千葉交通株式会社 取締役自動車部長
龍岡 穂積	富里市医師連絡協議会 会長
丹 さく子	富里市地区保健推進員協議会 会長
中野 善敦	社会福祉協議会 会長
森田 恵子	富里市教育委員会 教育長職務代理者
石川 賢治	富里市スポーツ協会 副会長
山縣 俊明	公募委員
村井 香織	公募委員

欠席者

篠原 義行	富里市観光協会 会長
-------	------------

○委嘱状交付

本来であれば、市長から1名ずつ交付させていただくところですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事前に机上へ配布させていただくことで簡略化させていただきました。

○市長あいさつ

皆様こんにちは、市長の五十嵐でございます。

本日は大変お忙しい中、第1回となります基本構想審議会に御出席いただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症については、皆様にも大変なご苦勞をおかけし申し訳なく思っているところがございます。

現在、富里市では感染予防対策と併せて、経済回復支援の両面で取り組んでいるところでございますが、どうか皆様におかれましても「新しい生活様式」を取入れた中での対応をお願いしたいと思います。

さて、総合計画は言うまでもなく富里市の将来を占う羅針盤のようなものであり、この総合計画があればこそ富里市の将来が見えてまいります。

しかしながら、この総合計画見直しのタイミングで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が広がり、生活様式も大きく変わり、まちづくりにおいても大きな影響を及ぼしてくると思われまます。

そうした中で、適切な判断を見極めていくためにも、まずは策定期間も含めた策定スケジュールについて

諮問させていただきます。

皆様の意見をいただきながら、将来を見据えた計画にしていきたいと思っておりますのでお力添えの程よろしく
お願いいたします。

○委員紹介（自己紹介）

委員の皆様から一人ずつ自己紹介をいただきました。

○会長・副会長の選出

事務局より、基本構想審議会の概要を説明した後に、委員による互選で選出をお願いしました。

会長に千葉大学の関谷昇委員、副会長に富里市都市計画審議会の篠原眞司委員が選出されました。

選出された会長・副会長からあいさつ有り。

○議題

（１）協議事項

①富里市総合計画の計画期間変更について（諮問）

【永田企画課長より資料２－１、２－２を基に説明】

関谷会長 : ただいま事務局より説明がありました。委員の皆様から質問・意見はございますでしょうか。

町田委員 : 計画の１年延長ということだが、コロナの関係で経済、生活様式、雇用など様々な変化がこの１年にあると想定されます。外国人のインバウンドの減少や、旅客航空機の大幅な減便など、成田空港の影響は富里市においても十分考慮する必要があると考えますので、策定期間の延長は賢明な判断だと思います。

篠原委員 : 延長の期間について、１年間でよいか、さらに延びるのかの判断が必要になると思うが事務局の考えを伺いたい。

事務局 : 令和３年度中の策定を目指して進めていきたいと考えているが、コロナの状況には注視しつつ進めていきたいと思っております。

寒郡委員 : 現在、千葉県では空港周辺地域での土地利用について特区申請できないか検討しており、この特区申請も含めた地域振興策を今年の１２月に発表する計画があるようなので、そういった計画と一体的に進めていけるような事務局説明のスケジュールで進めた方が良いと思う。

事務局 : 昨年度、千葉県において「実施プラン」と言うものが策定されたが、成長するプランとして今後も不断の見直しを行いながら空港周辺のまちづくりを進めていくこととしている。その中で特区制度を活用して土地利用の規制緩和も含めて検討している段階であり、１１月頃には概要が見えてくると思うので、そちらも注視しながら計画に取り込んでいけるように調整したいと思っております。

関谷会長 : 他に意見はありますか。

無いようでしたら、皆様から貴重な意見をいただきましたが、この度の新型コロナウイルス感染症による社会への影響は非常に大きい。また、今後どのような形で展開していくか未知数の部分が多い。それ等に対してどのような計画が必要なのか、市民目線、行政目線からの取組みについても調査検討していく必要があると思う。以上のことから事務局（案）のとおり現行の基本構想を１年間延長し、次期総合計画の策定についても議論を深めるためにも策定期間を１年間延長することが望ましいということで、市長の方へ答申させていただきたいと思っております。

(2) 報告事項

①まちづくり市民会議提言書及び市民意識調査結果について

【事務局より資料3-1、3-2を基に説明】

関谷会長 : ただいま事務局より「まちづくり市民会議提言書」及び「市民意識調査結果」の説明がありました。

これらについては、これから事務局で基本構想の原案を作成していく中で、可能な限り取り込んでいかれるものと思いますが、皆さんから意見や質問はありますか。

中野委員 : 総合計画を策定するうえで、人口の目標をどの程度に設定するのか、また道路の計画や、交通アクセスの問題など、ある程度示してもらわないと議論が難しいと思う。

関谷会長 : 総合計画を策定するうえで人口推計は基本となってくると思うが、富里市も人口ビジョンを策定していると思うので事務局より簡単に説明願いたい。

事務局 : 人口ビジョンについては平成27年度に策定しておりますが、本年度見直し作業を行う予定になっておりますので、その進捗状況も踏まえて次回会議以降に委員の皆様にお示ししていきたいながら議論を進められればと考えております。

富里市では人口減少時代においても5万人をキープしており、これは大変意義のあることだと感じています。都市計画マスタープランが数年前に策定されましたが、そちらでも人口推計はさせていただいております。成田空港の機能拡張に伴う計画でも就業人口が増える見込みとなっており、それらの状況を踏まえながら人口ビジョンの見直しを行っていきたいと思います。

道路の関係でございますが、東関東自動車道を挟んで日吉台地区と七栄中心地区とに分断されるような地形となっておりますが、日吉台との連続性を図っていくためにも現在、都市計画道路の整備が進められています。更には、空港とのアクセス強化について提言書でも触れられておりますが、重要になってくると感じておりますので、そのあたりもしっかりと捉えながら計画に取り込んでいけるよう進めていきたいと思っております。

関谷会長 : 人口については人口ビジョンの見直しの中で検討されていくということですが、これについては色々な考え方が出てきており、「人口減少社会の中で人口を維持していくためにどうしたらよいのかという考え」、「まちの規模感を見据えていきそこで出来るまちづくりを考えていくというもの」、「提言書でも触れられているが関係人口と言うもので富里市に来てもらう人や、係わりのある人も包括的に捉えた中でまちの活力を考えていく」など、多角的な視点で検討していく必要があると思うので、今後の会議の中で議論していければと思います。

町田委員 : 人口に関しての意見が出たので、日吉台の現象をお話しさせていただく。

コロナの影響で最近100人前後の減少が見られたが、理由として考えられるのは海外からの技能実習生の減少があると思われま。

日吉台でも知っている限りで技能実習生の研修施設が2箇所あり、海外から日本に来て、基本的な日常生活をここで学んだ後に各地へと実習に向かっている。この施設にある程度まとまった人数が定期的に入ってきたものが、コロナの影響で完全にストップしてしまった影響が、ここ最近の人口に影響しているのではないかと考えられます。

また、彼ら技能実習生の国民健康保険についても、手続きも含め不安材料があるので、富里市の財政に影響しないかも危惧しているところです。

寒郡委員 : 人口の話が出たので、次の会議以降で議論されていくだろうと思いますが、千葉県が成田空

港の第3滑走路も含めた機能強化により最終的な空港圏での人口の試算を出している。空港の就業人口だけで3万人増加するという話は以前から聞いていたが、空港圏全体で見ると9万人増えるとしている様である。

次回の会議では空港に関連した計画についての資料も提示してもらいたい。

富里市だけで考えるとなかなか完結できない問題もあると思うので、広域的な視点も含めて議論していきたい。

事務局 : 人口ビジョンの見直し作業に併せて、それらの資料についてもお示しできるよう準備していきたいと思います。

関谷会長 : ほかに意見が無ければ、これらの資料については委員の皆様にも目を通していただき、次回会議での議論の参考にしていただきたいと思います。

②今後のスケジュールについて

【事務局より資料4を基に説明】

関谷会長 : ただいまの事務局の説明について質問、意見があればお願いします。

篠原委員 : 総合戦略というのも、この様な会議があるのか。

事務局 : 総合戦略については、「富里市まち・ひと・しごと創生有識者懇談会」という会議を組織しており委員10名で、年2回の会議の中で、効果検証や改訂について意見をいただいております。

篠原委員 : 審議会のようなものが沢山あり、どこがイニシアチブをとるのか、意見をすり合わせるような場を設けることも必要かと思うが。

事務局 : 次期総合計画と次期総合戦略については一体的な作り込みを考えており、両方の会議においても情報共有はしっかりと考えていきたいと思います。

会議の共同開催については進捗状況を見ながら併せて検討していきたいと思います。

関谷会長 : 総合戦略とは地方創生ということで動いている取組みであり、全国の自治体で同じように策定していると思うが、「総合戦略をメインに考えるところ」、「総合計画をメインに考えるところ」、「富里市のように総合計画と総合戦略を一体的に考えるところ」と、様々であります。わたし個人的には一体的に策定することが望ましいと考えており、総合計画の中の重点施策を、総合戦略の目標等にして組み立てていくことになるのかと思われま。

山縣委員 : スケジュールの中で「ワーキンググループ」「策定本部会議」「専門部会議」とあるが、これはどのようなものか。

事務局 : これは庁内の会議となります。

施策を検討していくうえで、庁内で協議調整していく場であり、各部署の担当者レベルや、課長レベルでの会議になります。

関谷会長 : コロナ渦の中で、今後どのように会議を進めていくのか不透明な部分もありますが、現時点での予定ということで、状況により相談させてもらいながら進めていきたいと思っています。

○その他

特になし

〔終了〕